



サロンの様子

徐々に高齢化が進み、老夫婦世帯、又は相手に先立たれた単身世帯が増えつつある。コロナの影響で夏祭り等の行事も開催していません。

サロンのウリ

茶道という伝統文化を地域の人々と共有しあえるのは喜びです。茶花・菓子・焼き物等話題が広がり道端に咲いている草花一つをとっても生けてみようかと身近な所に興味をもってもらいたいと思っています。茶室には必ず掛け軸をかけます。禅語が多いのですが、解釈を加えお話をしています。1日1日を大切に過ごせることに感謝と喜びを再認識するきっかけになってもらいたいと願っています。

運営費の確保

300円/人・回)

助成金よりパワーアップしたこと

主に、茶筌などの茶道の道具の購入をしたことにより、本格的に茶道を楽しむことだできました。また、活用できていなかった集会所を活用できるようになりました。

サロンをやってみてよかったこと

同じ地域に住んでいても話したこともない方が大半でしたが、サロンを中心に輪が広がりました。思いがけず同郷だったりと話題は尽きません。サロンの帰りがけに「楽しかった」と言っていたのが最大の喜びです。

これから居場所活動をはじめの方へのメッセージ

茶話会だけではなく、特技を生かすのもよいと思います。（例えば着付けなど）特技を足がかりにいろいろと発展させられるのではと考えます。

